

平成 16 年度環境技術実証モデル事業
「山岳トイレし尿処理技術分野」実証試験に係る対象技術の選定について

平成 16 年 7 月 15 日
神奈川県自然環境保全センター 所長

1 趣 旨

環境技術実証モデル事業の山岳トイレし尿処理技術分野について、平成 16 年度の実証対象技術を選定しました。

2 選定技術の概要

平成 16 年 6 月 21 日（月）から平成 16 年 6 月 30 日（水）の間、実証対象技術の募集を行なったところ、1 件の申請がありました。

神奈川県山岳トイレし尿処理技術実証委員会（委員長：森武昭 神奈川工科大学教授）を設置し、形式的要件、実証可能性、環境保全効果等の観点に照らして検討し、環境省と協議した結果、次のとおり実証対象技術として選定しました。

[実証対象技術]

土壌処理方式（商品名：サンレット）

株式会社 リンフォース（神奈川県鎌倉市常盤 258）

3 環境技術実証モデル事業について

1) 事業の概要

既に適用可能な段階にある先進的な環境保全技術でも、客観的な評価がないことによって普及の進んでいない状況が見受けられます。環境省では、このような環境保全技術について、環境保全効果等を客観的に実証することにより、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的としたモデル事業を昨年度から実施しています。

こうした中、神奈川県は本年度の山岳トイレし尿処理分野における実証機関として選定され、次のとおり実証試験を実施します。

2) 今後の予定

7 月中旬	実証試験計画の策定
7 月下旬から 2 月	実証試験の実施
3 月上旬	実証結果報告書の作成

4 問い合わせ先

神奈川県自然環境保全センター 自然保護公園部 自然公園課（担当：井田）

〒243 - 0121

神奈川県厚木市七沢 657

TEL：046 - 248 - 6682（内線 52）

実証対象技術の概要 (神奈川県)

実証対象技術 環境技術開発者名	実証対象技術の概要
<p>土壌処理方式</p> <p>(株)リンフォース</p>	<p>この技術は、し尿を便槽内で分解し、酵素の力を借りて固形物を液体とガスに変え、小便、洗浄水、大便の分解水分は土壌中の微生物で浄化処理し、再び洗浄水として使える水に変えるものである。処理システムは、まず、し尿と洗浄水を便槽を兼ねた消化槽(腐敗槽)で一次処理し、更に接触消化槽で二次処理した処理水を土壌処理槽に送る。土壌処理槽にはプラスチックシートが敷かれ、中に微生物の住みやすい土壌が入っており、処理水を地表面に近い土壌の中に毛細管浸潤という方法で送り込む。土壌の表面近くに棲む好気性微生物の働きで浄化された水は、プラスチックシートの底面にある貯水部に溜まり洗浄水として使われる。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <pre> graph LR A[水洗便器] --> B[便槽兼気腐敗処理槽] B --> C[接触嫌気消化処理槽] C --> D[土壌好気処理槽] D --> E[地下貯水槽] E -- 洗浄水 --> A </pre> </div> <p style="text-align: center;">し尿処理フロー図</p>